

安城市 市民協働に関するアンケート 調査報告書(抜粋版)

(1) 市民向けアンケート調査	2
(2) 町内会向けアンケート調査	15
(3) 市民活動団体向けアンケート調査	19

平成29年2月

市民協働課

1 市民向けアンケート調査

1 ボランティア・NPO等への参加経験・意向について

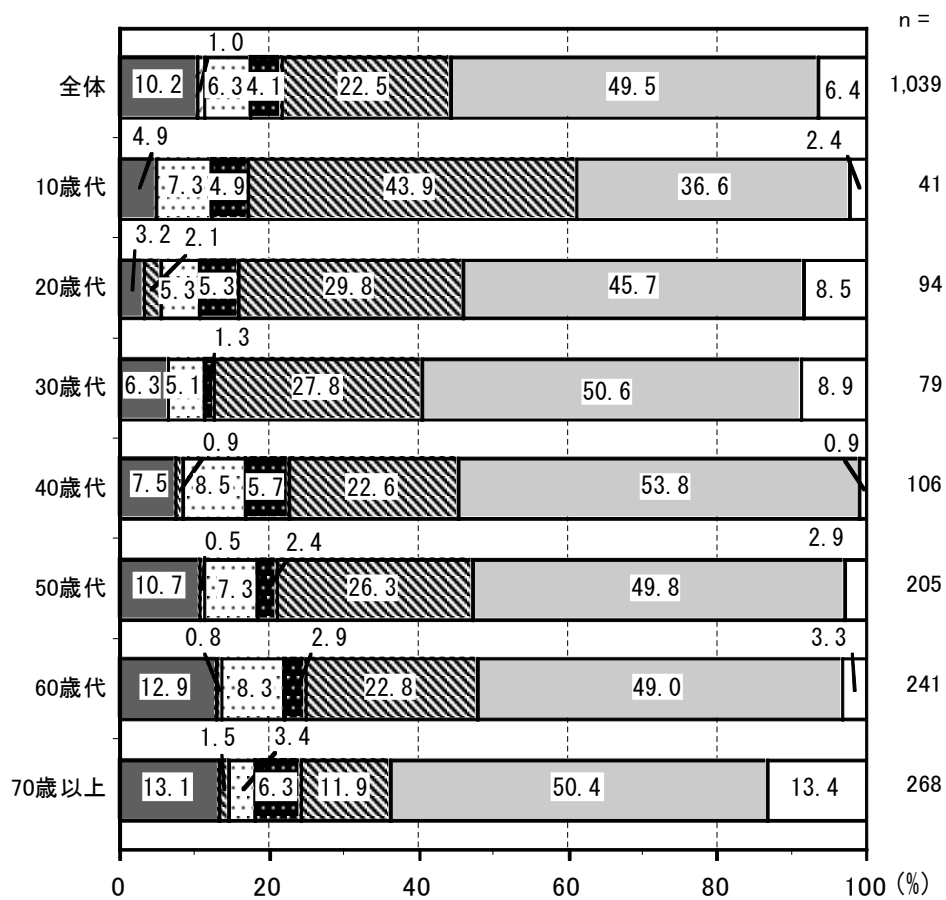
(1) ボランティア・NPO活動等への関わり

問12 あなたは、ボランティア・NPO等の活動にどのように関わっていますか。【〇は1つ】

要点

これまでにボランティア・NPO活動等に『参加したことがない』は7割以上(72.0%)、『現在参加している』は約1割(11.2%)を占めています。
潜在的にボランティア・NPO等の活動に関与したいと考えている人は約4割程度です。また、こうした潜在的な活動参加意向は50歳代、60歳代で比較的高くなっています。

図3-1-1 年齢別「ボランティア・NPO活動等への関わり」



- 現在参加しており、今後も続けていきたい
- ▨ 現在参加しているが、今後はやめたいと思っている
- ▤ これまで参加したことがあり、今はやめているが、今後また関わってみたい
- ▥ これまで参加したことはあるが今はやめており、今後も関わるつもりはない
- ▧ これまで参加したことはないが、今後は関わってみたい
- これまで参加したことはなく、今後も関わるつもりはない
- 回答なし

図3-1-2 中学校区別「ボランティア・NPO活動等への関わり」

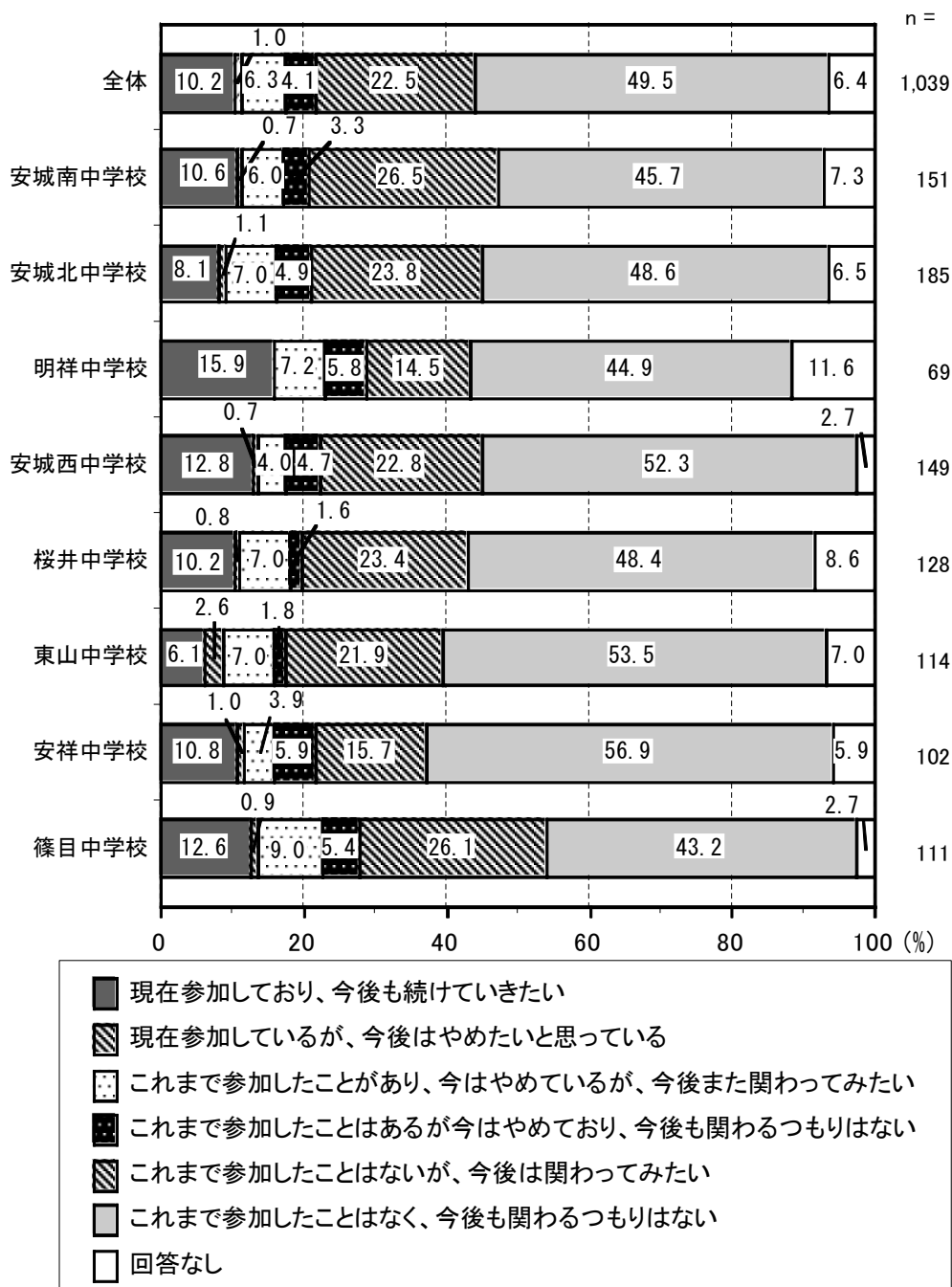


図 3-1-3 これまでに参加したことがある活動別「ボランティア・NPO活動等への関わり」

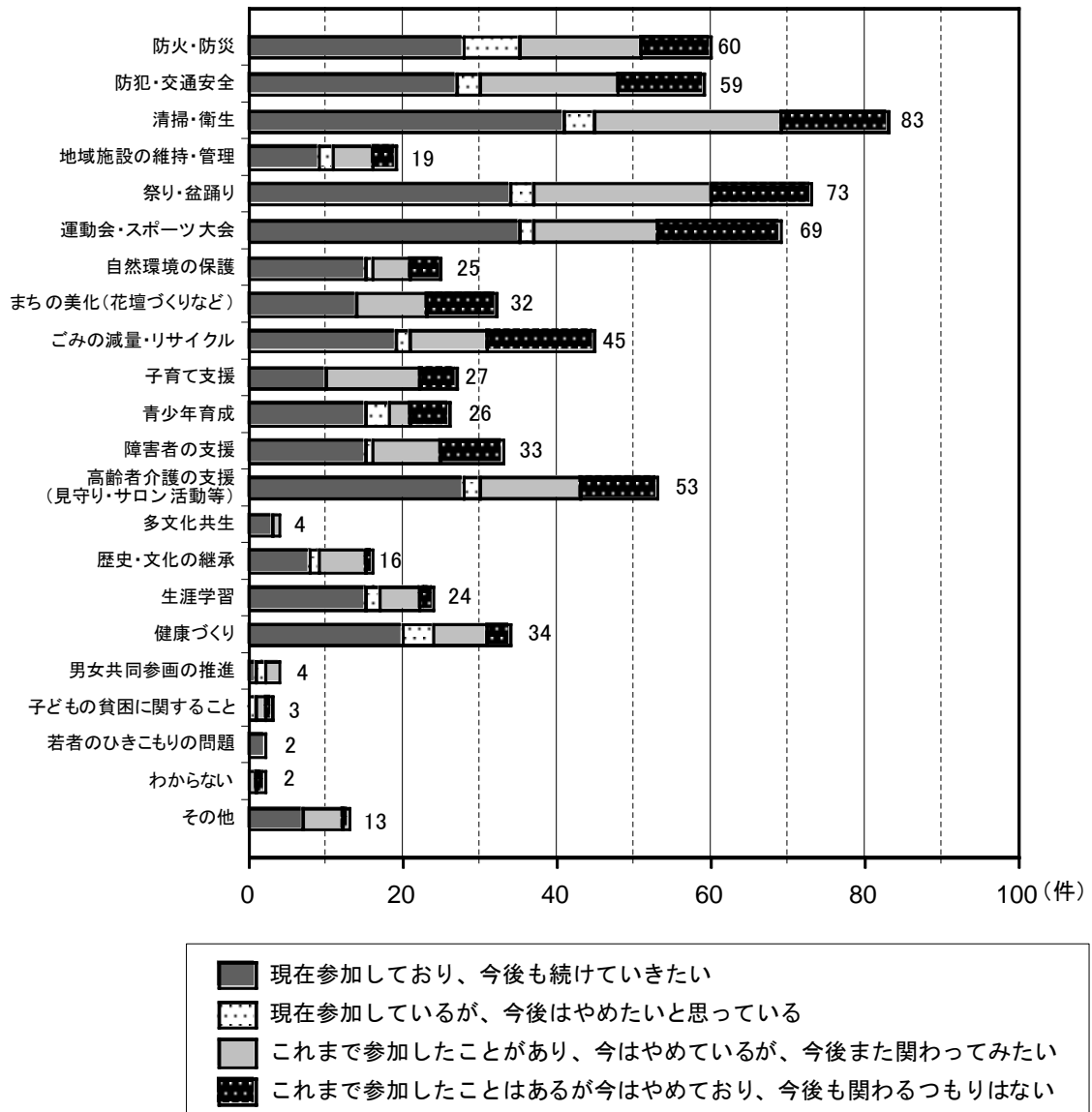


図3-1-4 今後行いたい活動別「ボランティア・NPO活動等への関わり」

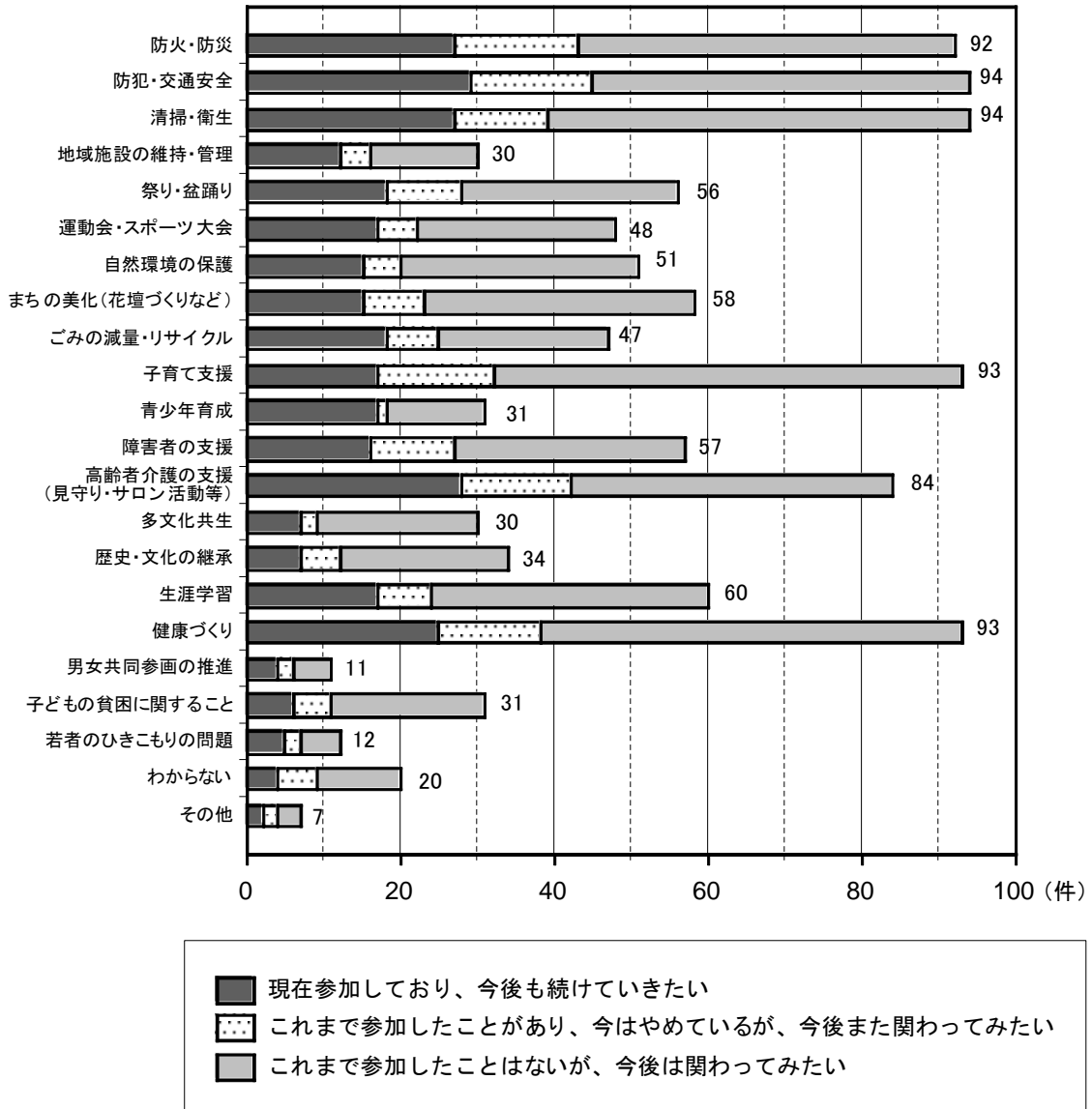
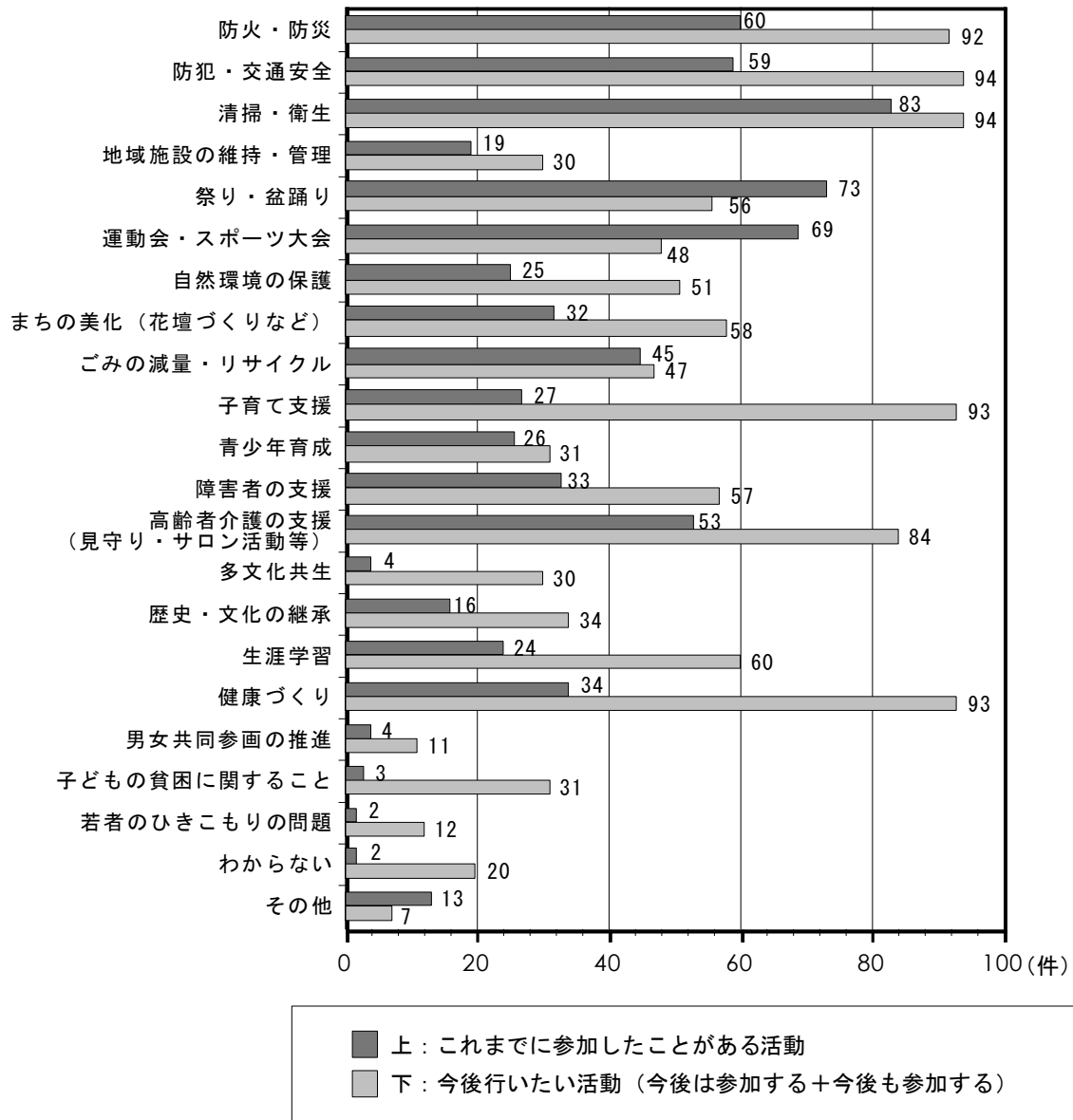


図 3-1-5 これまでに参加したことがある活動と今後行いたい活動の比較



(2) 町内会とボランティア・NPO等との役割分担

問13 お住まいの地域で考えたとき、「町内会」と「ボランティア・NPO等」が、地域の活動を、どのように役割分担することが、望ましいですか。【〇は1つ】

要点

町内会とボランティア・NPO等との望ましい役割分担のあり方としては、「内容によって、お互いが役割分担し、協力するのがよい」が6割以上を占めています。

図3-3-1 年齢別「町内会とボランティア・NPO等との役割分担」

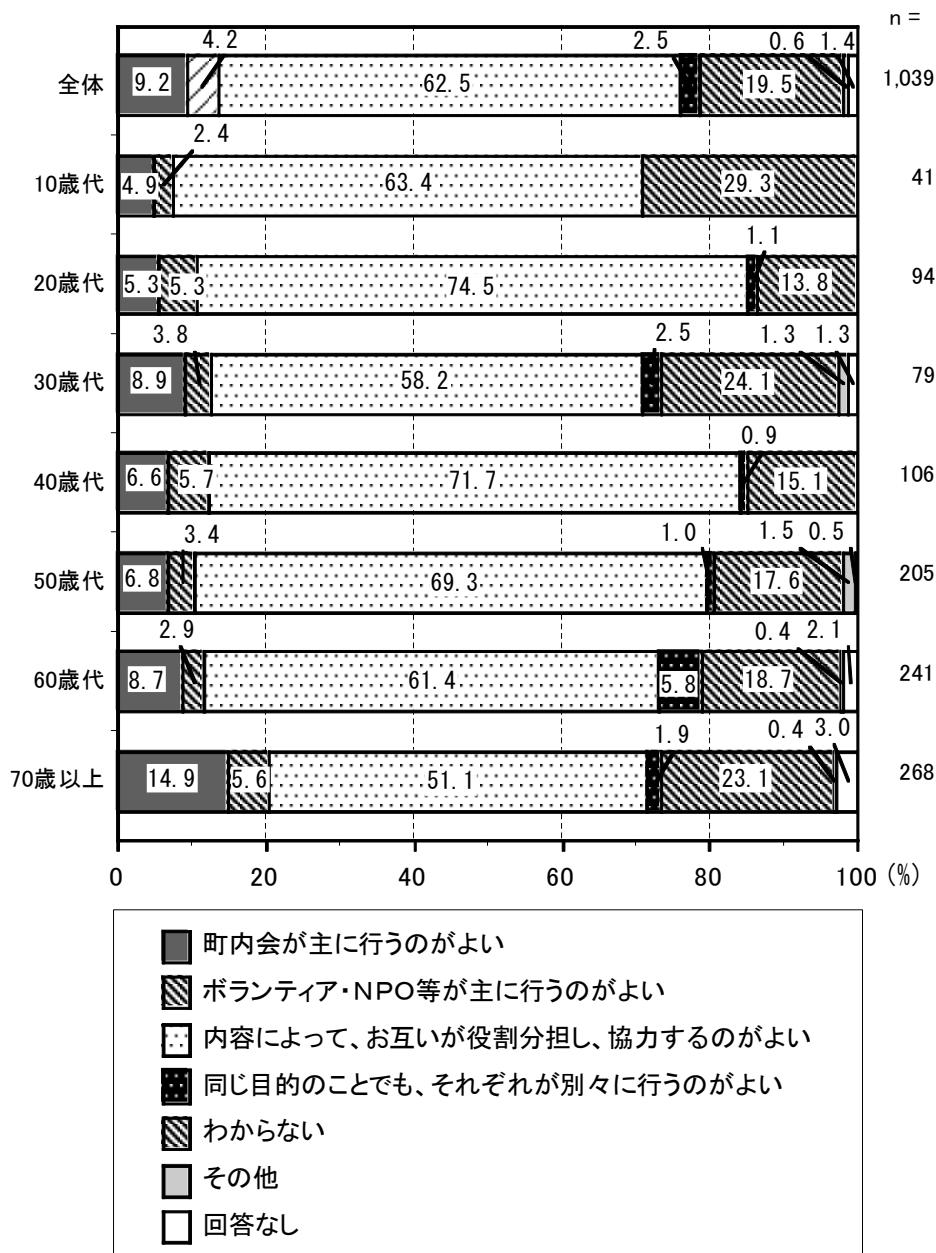
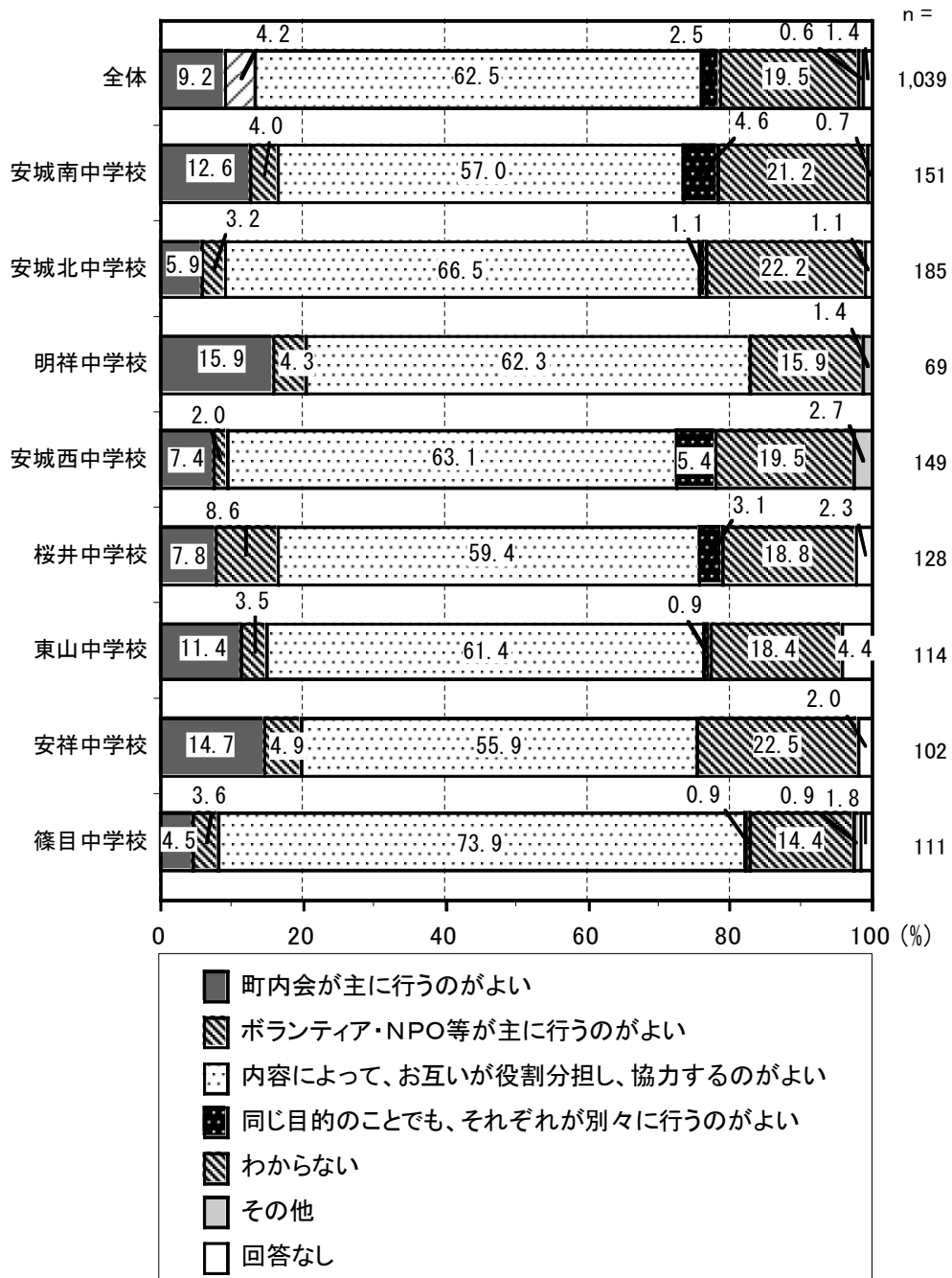


図 3-3-2 中学校区別「町内会とボランティア・NPO等との役割分担」



(3) 施策項目ごとの市民と安城市の役割分担と協働のあり方

問23 各分野で市民協働を進めるうえで、市民や、安城市の役割がどのようなものであるべきと思いますか。
【〇はそれぞれで1つずつ】

要点

生活安全や防災・減災、農業、観光、環境など、幅広い分野にわたって、協働で進めていくという回答が多くなっていますが、都市基盤や学校教育などの分野の施策については、協働で行うには難しいことをうかがわせる結果になっています。

図5-6-1 「協働を進める上での市の役割」

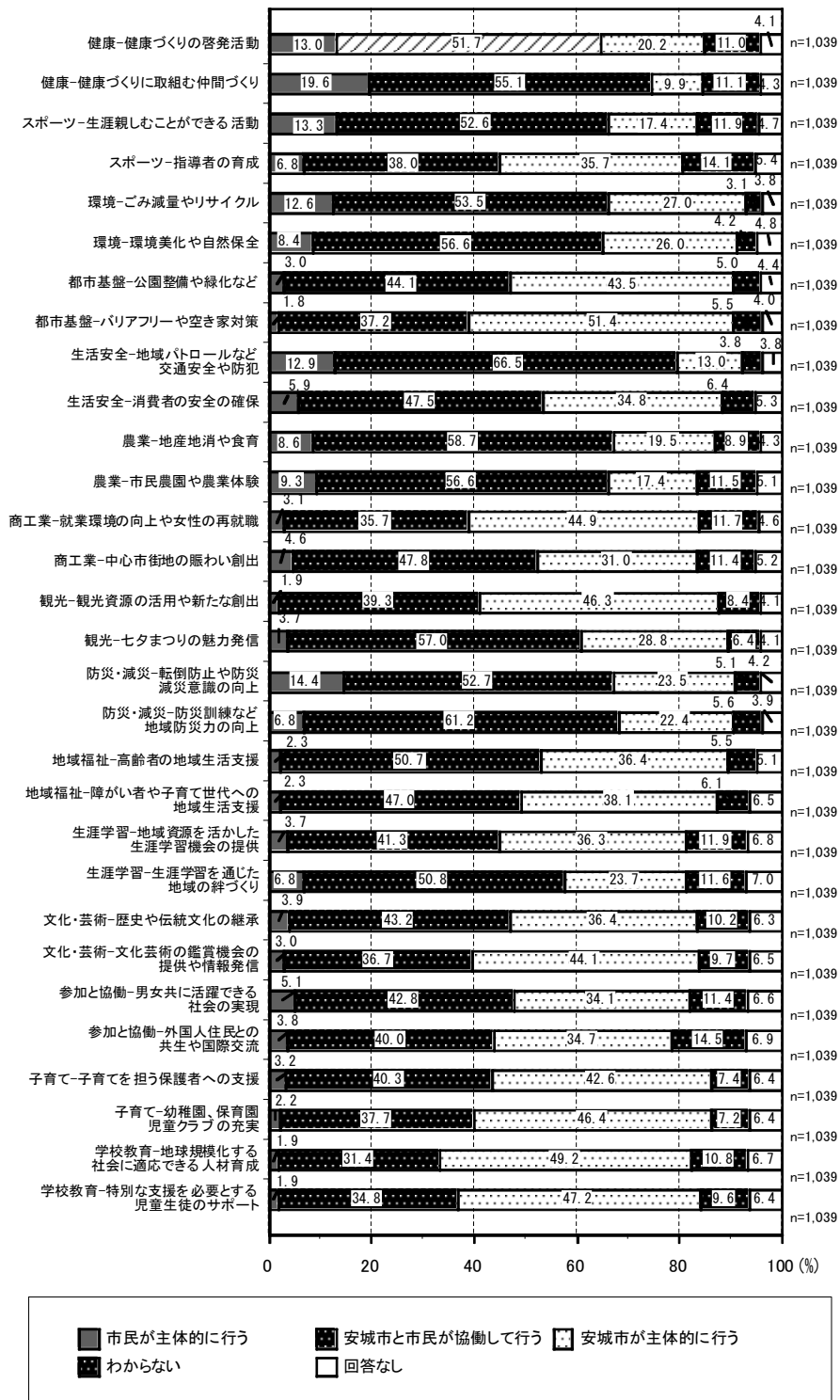


図 5-6-2 「市民が主体的に行う」の回答割合

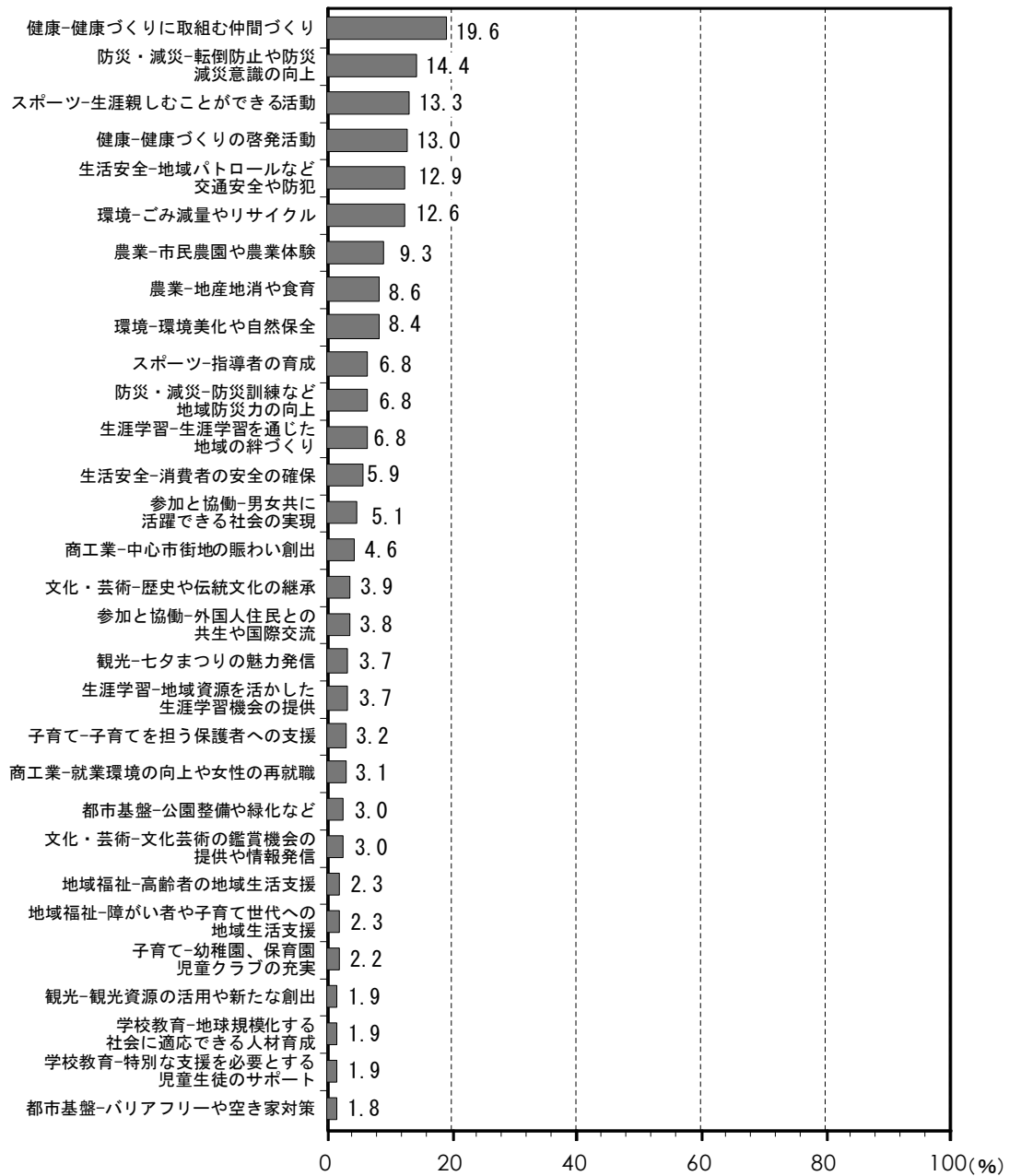


図 5-6-3 「安城市と市民が協働して行う」の回答割合

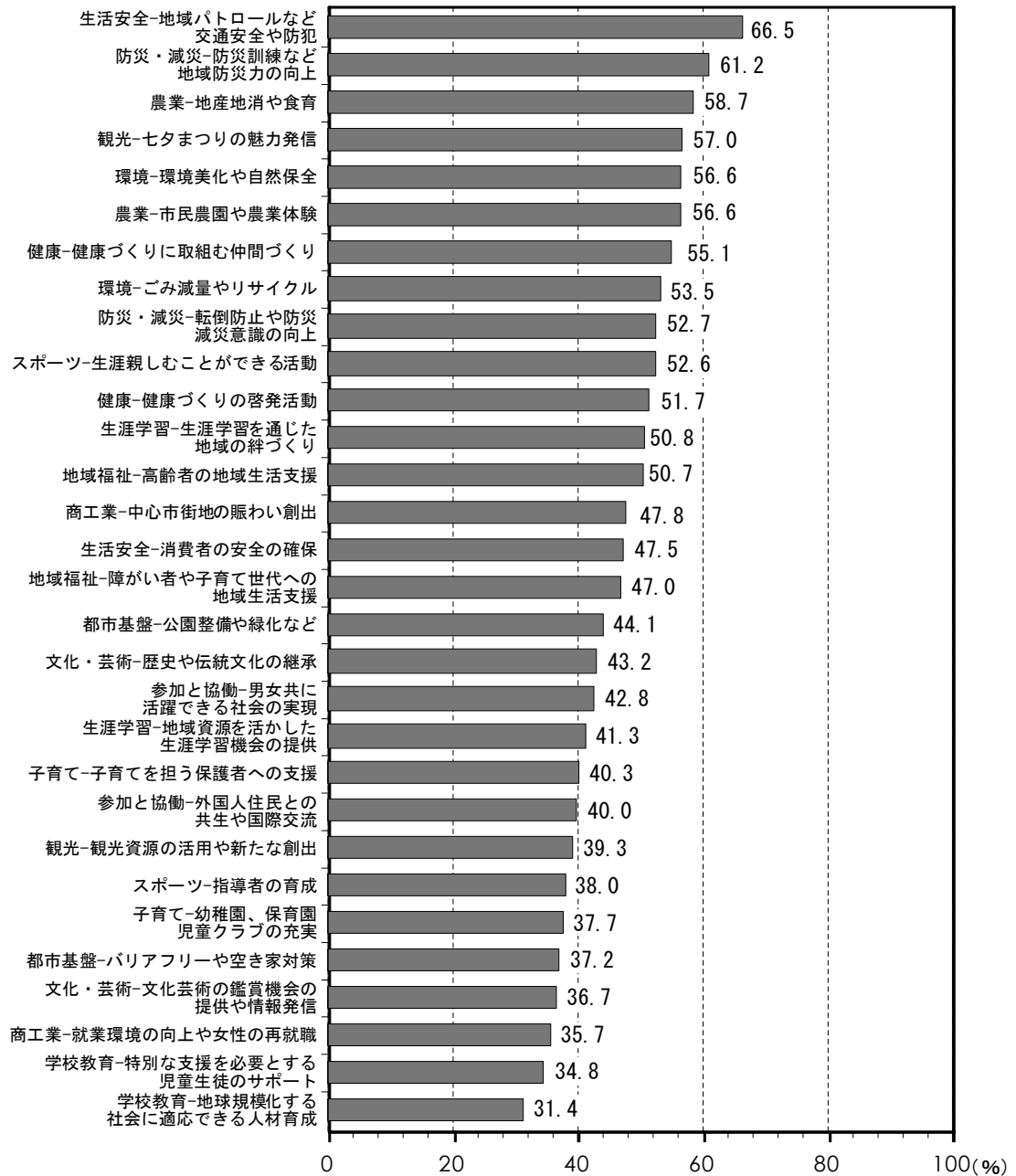


図 5-6-4 「安城市が主体的に行う」の回答割合

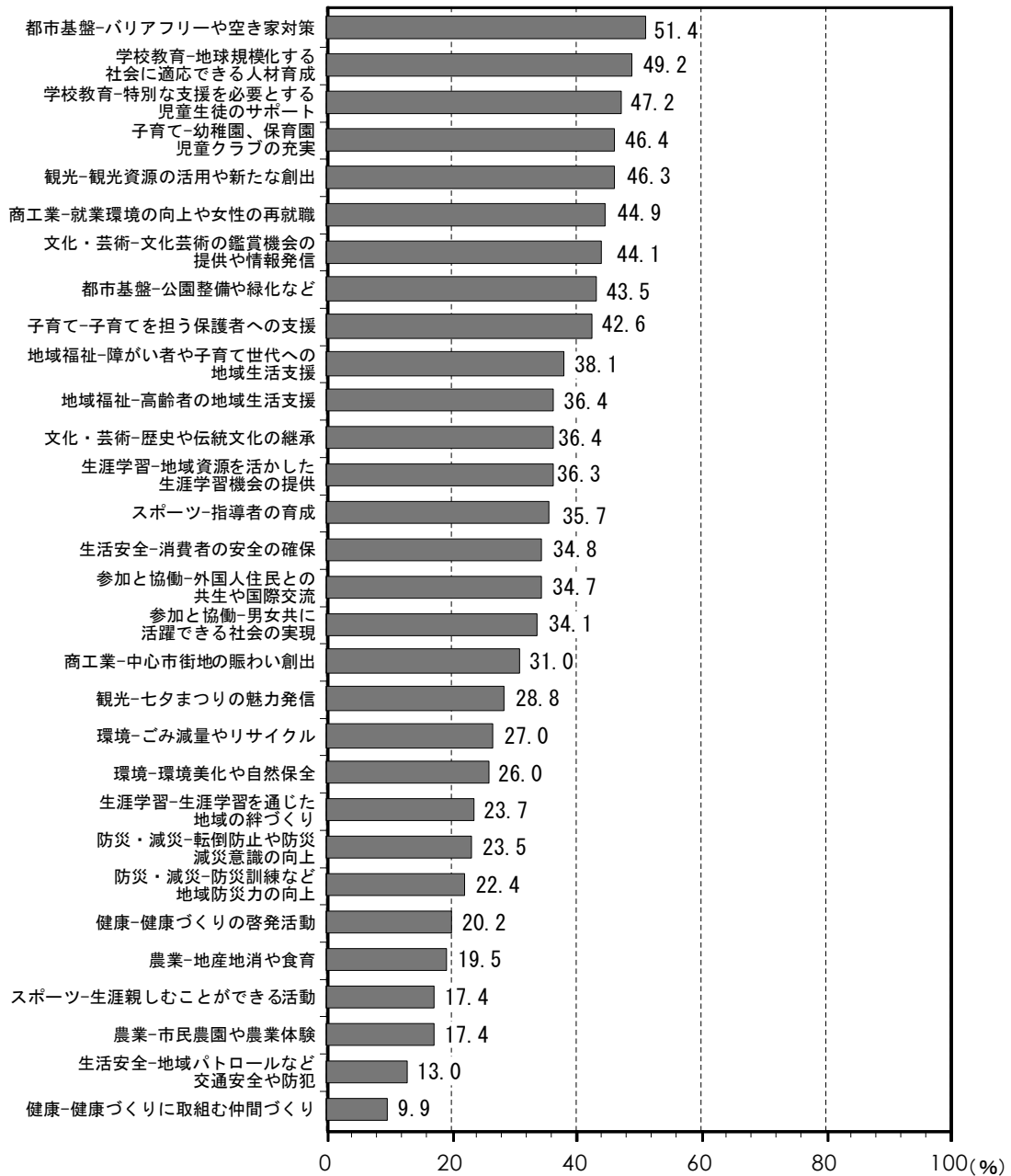


表 5-6-1 「安城市が主体的に行う」の回答割合

(単位：%)

施策項目	A:市民主体	B:協働	C:市主体	B-C
1 健康-健康づくりの啓発活動	13.0	51.7	20.2	31.5
1 健康-健康づくりに取組む仲間づくり	19.6	55.1	9.9	45.2
2 スポーツ-生涯親しむことができる活動	13.3	52.6	17.4	35.2
2 スポーツ-指導者の育成	6.8	38.0	35.7	2.3
3 環境-ごみ減量やリサイクル	12.6	53.5	27.0	26.5
3 環境-環境美化や自然保全	8.4	56.6	26.0	30.6
4 都市基盤-公園整備や緑化など	3.0	44.1	43.5	0.6
4 都市基盤-バリアフリーや空き家対策	1.8	37.2	51.4	-14.2
5 生活安全-地域パトロールなど交通安全や防犯	12.9	66.5	13.0	53.5
5 生活安全-消費者の安全の確保	5.9	47.5	34.8	12.7
6 農業-地産地消や食育	8.6	58.7	19.5	39.2
6 農業-市民農園や農業体験	9.3	56.6	17.4	39.2
7 商工業-就業環境の向上や女性の再就職	3.1	35.7	44.9	-9.2
7 商工業-中心市街地の賑わい創出	4.6	47.8	31.0	16.8
8 観光-観光資源の活用や新たな創出	1.9	39.3	46.3	-7.0
8 観光-七夕まつりの魅力発信	3.7	57.0	28.8	28.2
9 防災・減災-転倒防止や防災・減災意識の向上	14.4	52.7	23.5	29.2
9 防災・減災-防災訓練など地域防災力の向上	6.8	61.2	22.4	38.8
10 地域福祉-高齢者の地域生活支援	2.3	50.7	36.4	14.3
10 地域福祉-障害者や子育て世代への地域生活支援	2.3	47.0	38.1	8.9
11 生涯学習-地域資源を活かした生涯学習機会の提供	3.7	41.3	36.3	5.0
11 生涯学習-生涯学習を通じた地域の絆づくり	6.8	50.8	23.7	27.1
12 文化・芸術-歴史や伝統文化の継承	3.9	43.2	36.4	6.8
12 文化・芸術-文化芸術の鑑賞機会の提供や情報発信	3.0	36.7	44.1	-7.4
13 参加と協働-男女共に活躍できる社会の実現	5.1	42.8	34.1	8.7
13 参加と協働-外国人住民との共生や国際交流	3.8	40.0	34.7	5.3
14 子育て-子育てを担う保護者への支援	3.2	40.3	42.6	-2.3
14 子育て-幼稚園、保育園、児童クラブの充実	2.2	37.7	46.4	-8.7
15 学校教育-地球規模化する社会に適応できる人材育成	1.9	31.4	49.2	-17.8
15 学校教育-特別な支援を必要とする児童生徒のサポート	1.9	34.8	47.2	-12.4

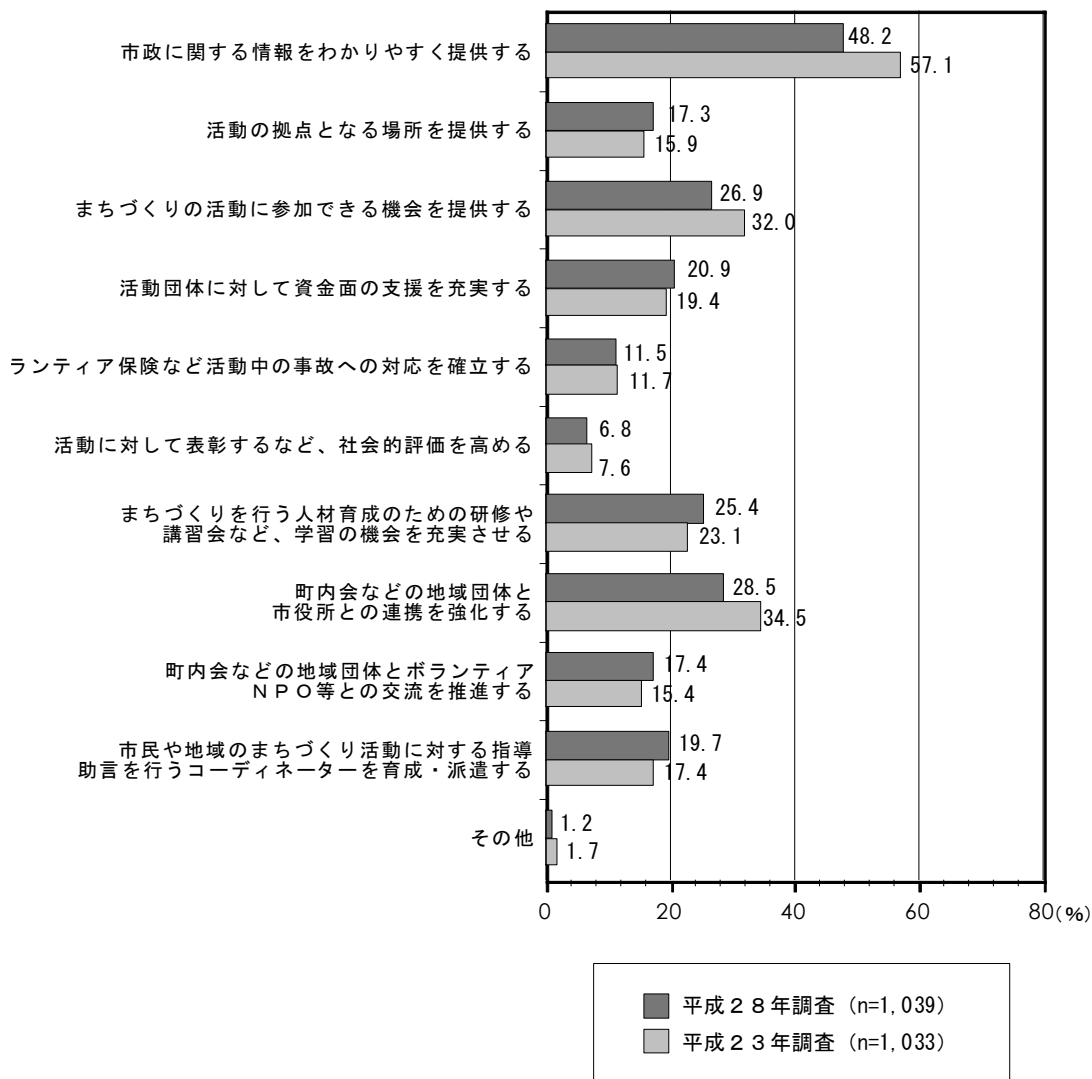
(4) 協働によるまちづくり推進のために必要な施策

問 24 「協働によるまちづくり」を推進するために、安城市は、市民や地域へどのような施策・取組みを行う必要があると思いますか。【〇は3つまで】

要点

「市政に関する情報をわかりやすく提供する」が48.2%と最も多くなっています。次いで、「町内会などの地域団体と市役所との連携を強化する(28.5%)」や「まちづくりの活動に参加できる機会を提供する(26.9%)」が望まれています。

図5-7 「協働によるまちづくり推進のために必要な施策」(平成23年度調査比較)



2 町内会向けアンケート

(1) 町内会活動の課題

問10 町内会活動を行ううえで、課題となっていることはありますか。

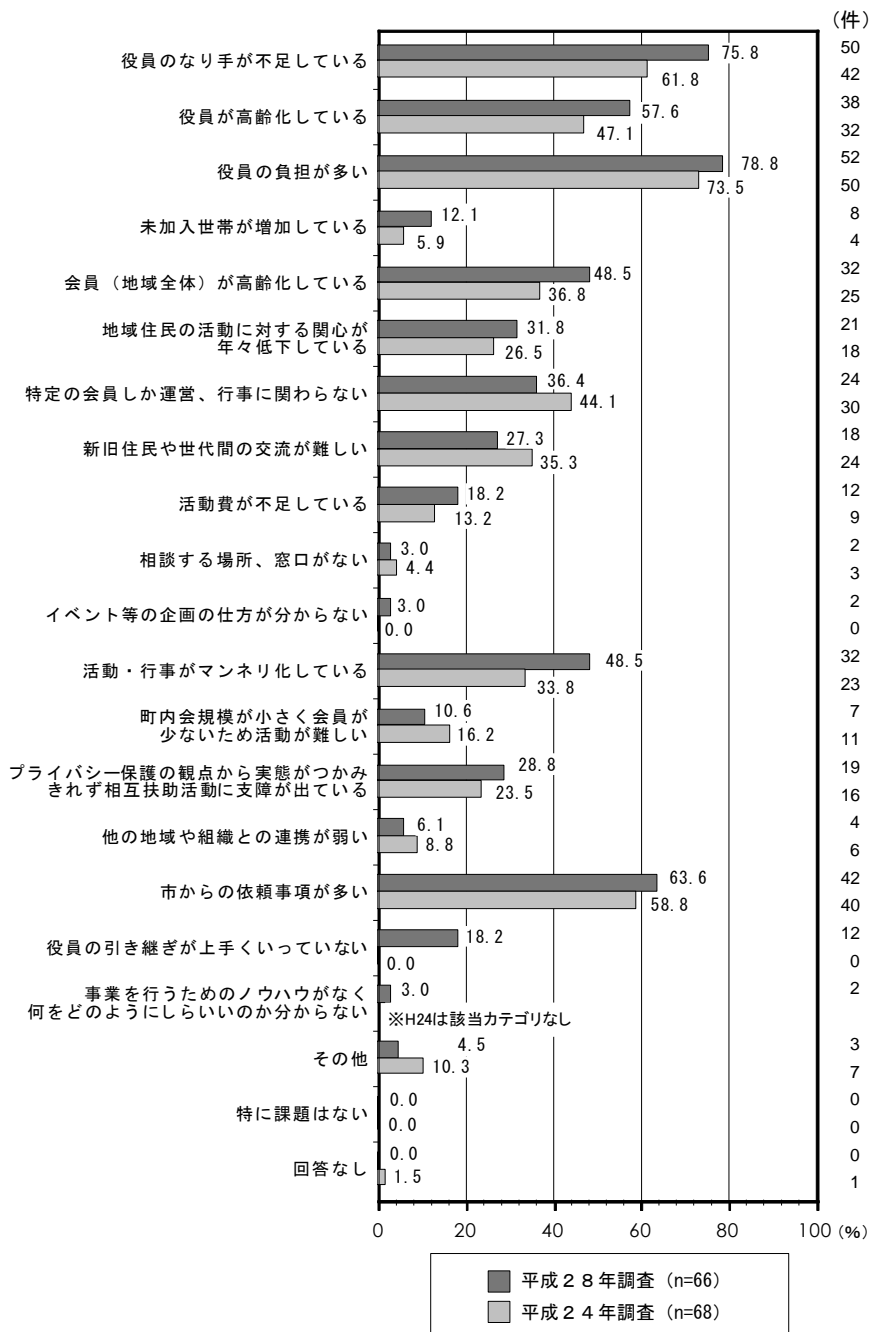
(あてはまるものすべてに○印)

要点

「役員の負担が多い」(78.8%)でもっとも多く、多くの町内会で課題になっています。「役員のなり手が不足している」(75.8%)や「市から依頼事項が多い」(63.6%)、「役員が高齢化している」(57.6%)なども多く、一般的に役員に関することが町内会活動を行う上での主な課題としてあげられています。

一般的に平成24年調査の結果よりもポイントアップしている課題の方が多く、課題が地域的に拡大してきている状況がうかがえます。

図1-9 「町内会活動の課題」(平成24年調査比較)



(2) 自身の町内会以外の団体との協働の実態と意向

問 12 現在、町内会活動を、NPO・ボランティアといった市民活動団体や他の町内会、事業者など、あなたの町内会以外の団体と協働して実施していますか。
(あてはまるもの1つに○印)

問 13 今後、町内会活動を進めていくうえで、他の団体と協働したいと思いますか。
(あてはまるもの1つに○印)

要点

他団体と「協働している」という町内会は51.5%を占めています。「協働したい」という町内会は45.5%とそれを下回っており、「メリット、デメリットがあり、どちらとも言えない」という町内会が39.4%と比較的多くを占めています。

図 2-1-1 「町内会以外の団体との協働」

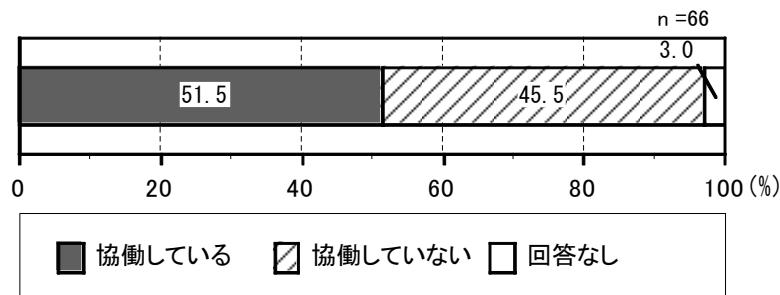
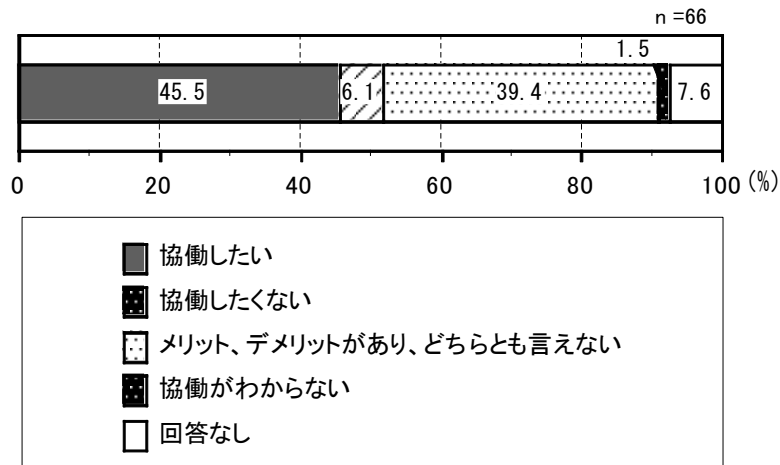


図 2-1-2 「他団体との協働意向」



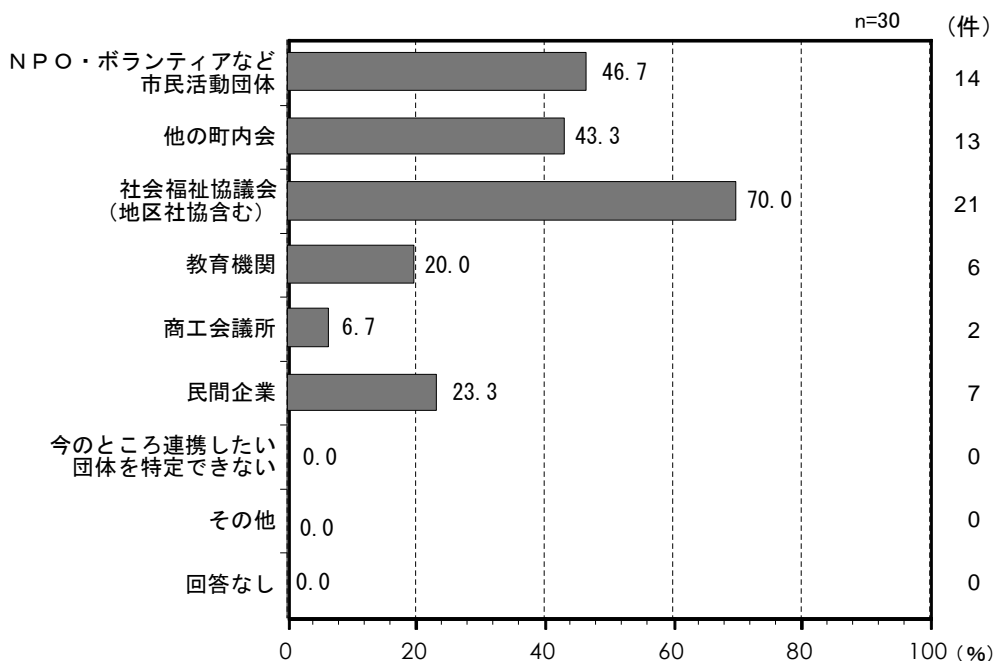
(3) 協働したい団体

問 14 問 13 で「1. 協働したい」と回答した方にお聞きします。どのような団体と協働したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

要点

協働相手としては、「社会福祉協議会（地区社協も含む）」が 70.0%（21 町内会）と最も多くなっています。「NPO・ボランティアなど市民活動団体」の 46.7%（14 町内会）や「他の町内会」の 43.3%（13 町内会）も比較的多くなっています。

図 2-2 「協働したい団体」



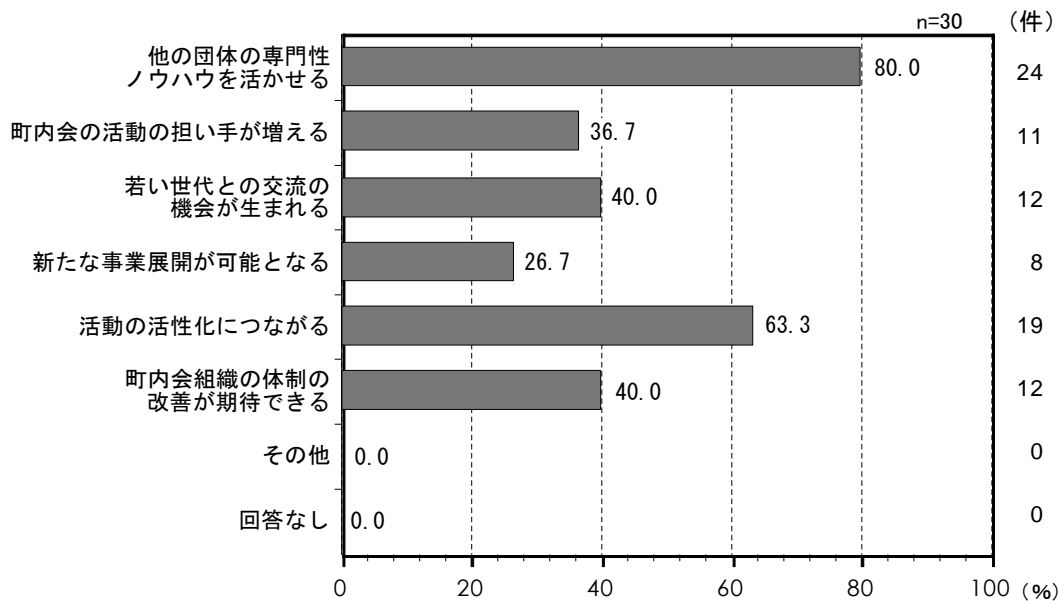
(4) 協働する場合の期待される効果

問 15 問 13 で「1. 協働したい」と回答した方にお聞きします。他の団体と協働する場合、どのような効果が期待できると考えますか。(あてはまるものすべてに○印)

要点

「他の団体の専門性、ノウハウ（やり方）を活かせる」（80.0% [24 町内会]）がもっとも協働の効果として期待されています。このほか、「活動の活性化につながる」や「若い世代との交流の機会が生まれる」、「町内会組織の体制の改善が期待できる」など多様な効果が期待されています。

図 2-3 「協働する場合の期待される効果」



3 市民活動団体向けアンケート

(1) 必要な支援

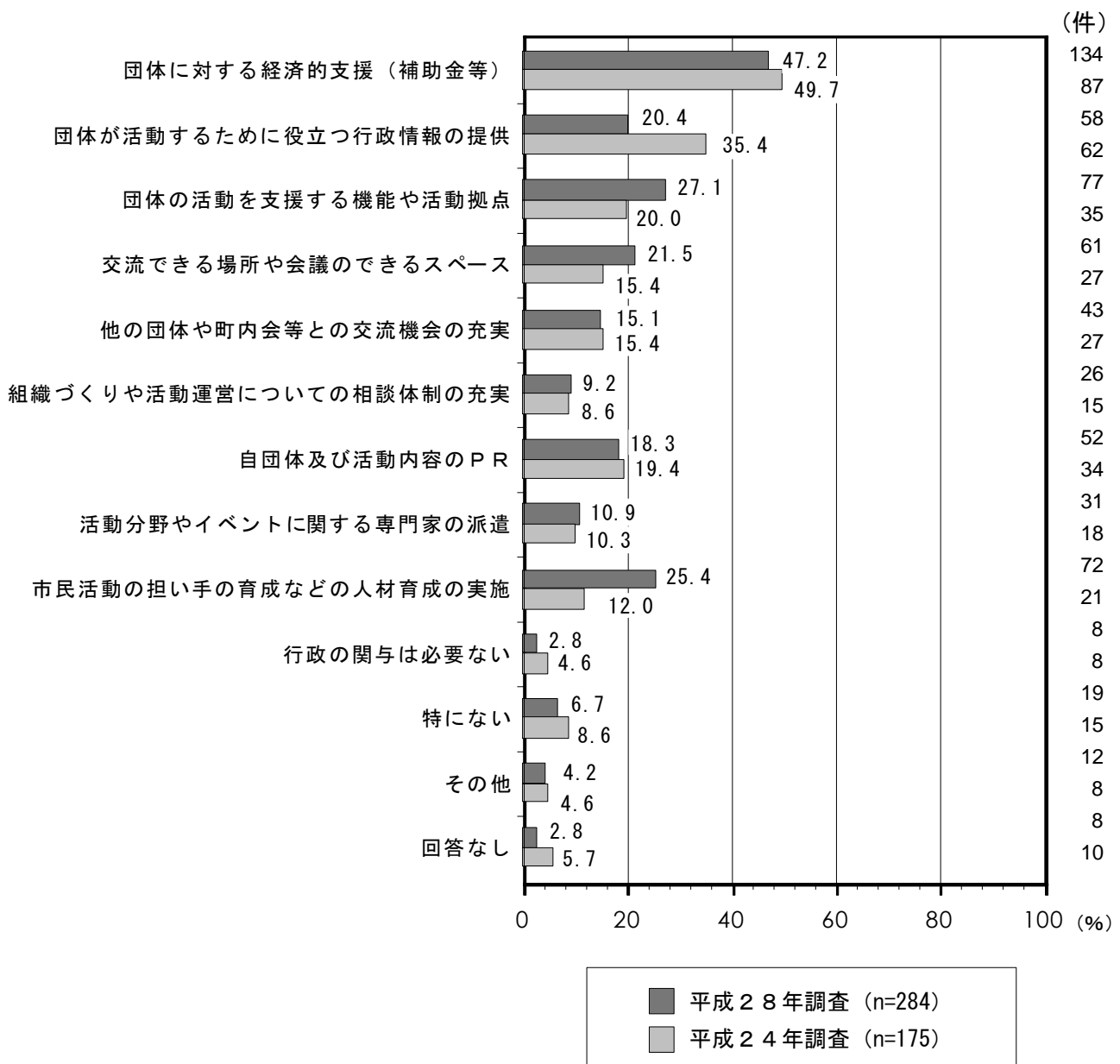
問 11 安城市は、NPOやボランティア団体に対して、具体的にどのような支援をすることが必要だと思いますか。(最も必要と思う支援を3つまで○印)

要点

NPOやボランティア団体に対する支援としては、「経済的支援（補助金等）」、「団体の活動を支援する機能や活動拠点」、「市民活動の担い手の育成などの人材育成の実施」などが強く望まれています。

とくに、人材育成の実施については、支援が必要とする意見が4年前と比べると大きく拡大しています。

図3-1 「必要な支援」(平成24年調査比較)



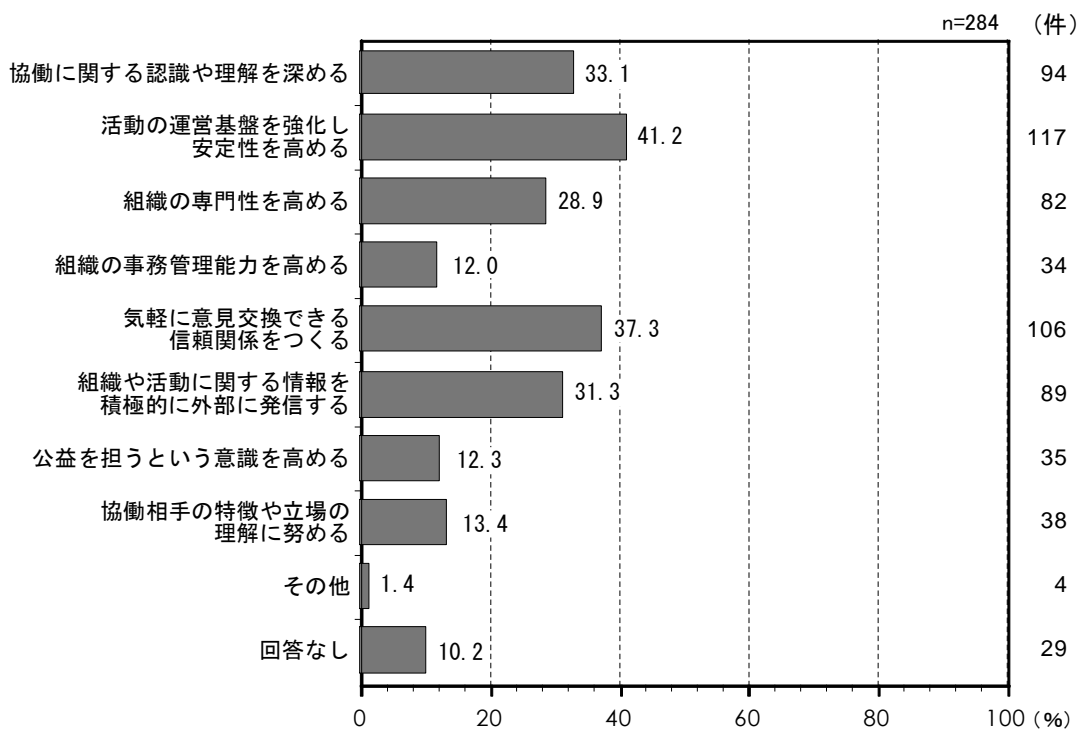
(2) 必要な取組

問12 NPOやボランティア団体は、どのような取り組みをすることが必要だと思いますか。
(最も必要な取り組み3つまで○印)

要点

活動の運営基盤強化・安定化を図ることが必要と考える団体が約4割を占めています。このほかでは、信頼関係の構築、協働に関する認識・理解の浸透、活動情報の積極的な発信、組織の専門性の向上などに取り組むことが必要であると考えています。

図3-2 「必要な支援」



(3) 他団体との協働意向

問 16 今後、他の団体と協働して活動したいと思いますか。

要点

他の団体と協働して活動したいと「思う」がほぼ半数を占めています。

図 4-3-1 「他団体との協働意向」

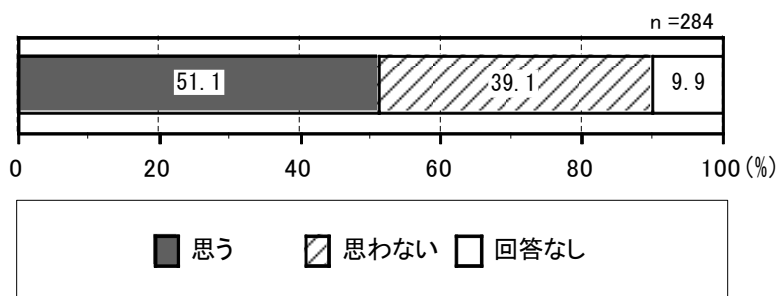


図 4-3-2 団体種別「他団体との協働意向」

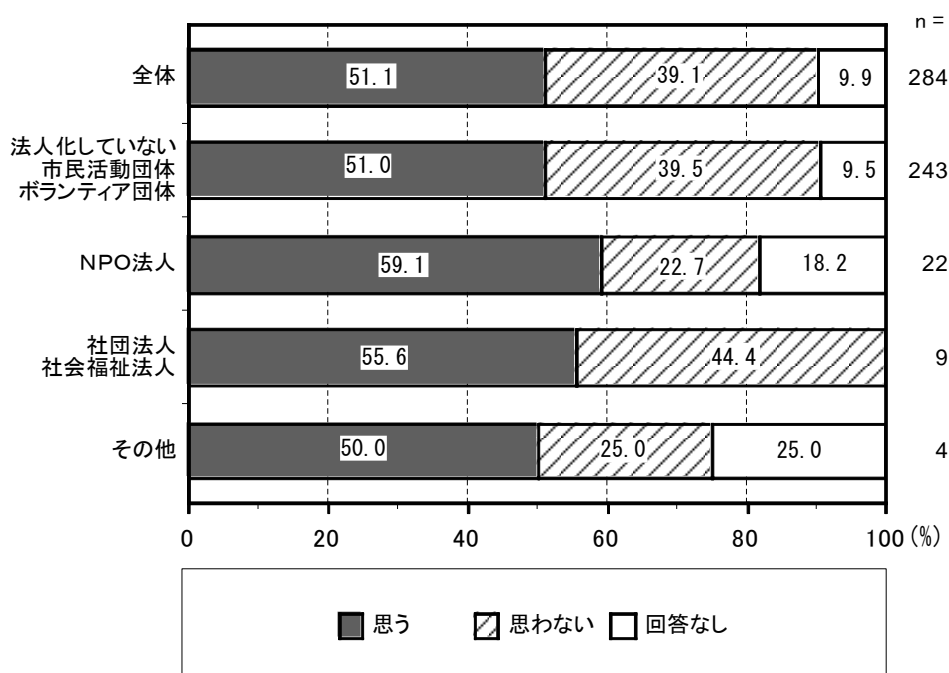
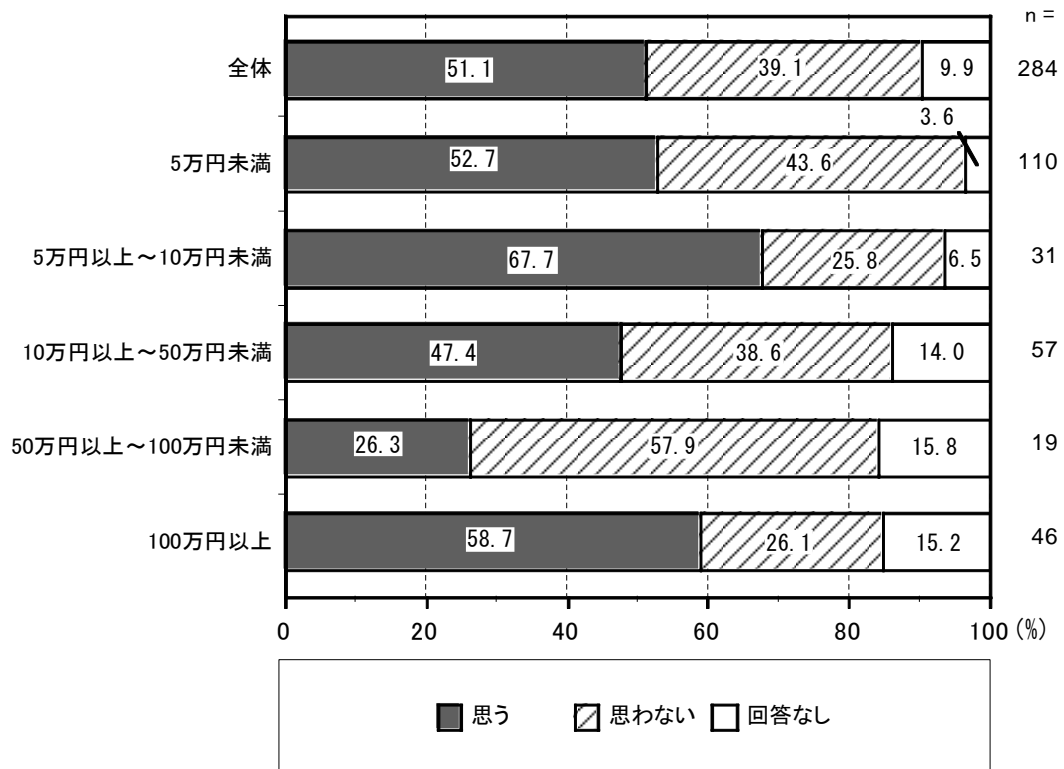


図 4-3-3 年間予算別「他団体との協働意向」



(4) 協働したい団体

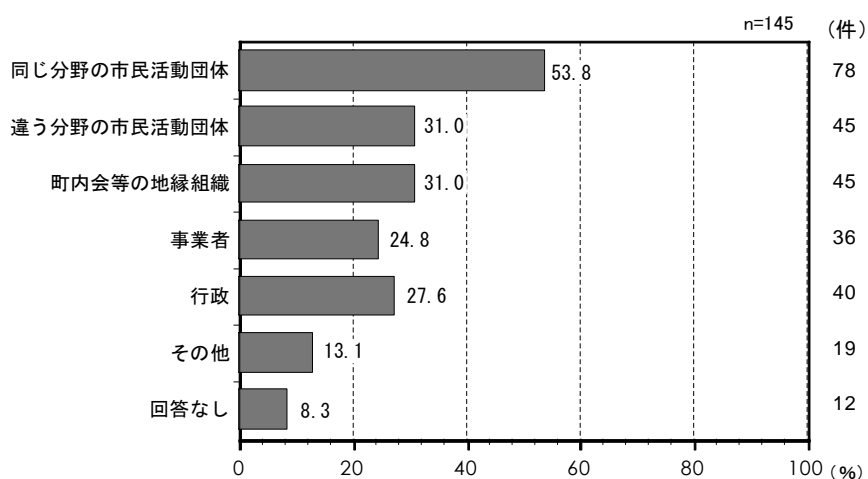
問 16-1 問 16 で「1. 思う」と回答した方にお聞きします。どのような団体と協働したいと思いますか。(あてはまるもの全てに○印)

要点

今後他の団体と協働して活動したいと思っている団体のうち、半数以上は「同じ分野の市民活動団体」と協働で活動したいと考えています。

これまでに「同じ分野の市民活動団体」と協働した経験を持つ団体は約4割であるので、新たに「同じ分野の市民活動団体」との協働を期待している団体が1割以上存在しています。

図 4-4 「協働したい団体」



(5) 市の取組について

問19 協働を推進するために、安城市はどのような取り組みが必要だと思いますか。
(最も必要な取り組み3つまで○印)

要点

全体の約4割の団体が、市民活動に関する理解を深める取組が必要と考えています。このほか、中長期的なビジョンを進める、情報公開を進める、対等な関係として尊重するなどの取組に比較的多くの期待が寄せられています。

図4-10 「市の取組について」(平成24年調査比較)

